

Digital Business Syllabus

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネス統計学Ⅱ (DB)		TDB218
講義名 (コード)	ビジネス統計学Ⅱ (DB)		TDB218
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	デジタル・ビジネスコース	単位数	2
授業担当者	忍足 祐之	時間数	30
成績評価教員	忍足 祐之	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

目的 (位置づけ)	統計学の考え方の基本を身につけ、Big Data をビジネスに応用する構想力を身につける。
到達目標	JMPのアルゴリズムを理解し、実際に各自が分析できるようになること。
全体の内容と概要	前半でワークショップを行い専門家にプレゼンテーションし、後半で統計学の基礎と情報学の理論を学ぶ。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	テキストマイニングソフトを各自インストールしてもらいます。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	講師	授業内容
第1週	担当講師	イントロダクション 大西先生を驚かしてみようプロジェクト
第2週	担当講師	JMPを使って何を分析してみたいか？ ～テーマ決めセッション（ペアで話し合い）
第3週	担当講師	JMPを使って何を分析してみたいか？ ～テーマ決めセッション（みんなで輪になって）
第4週	担当講師	JMPを使って何かを分析してみよう ～役割決めセッション（グループワークで討議）
第5週	担当講師	中間とりまとめ 各グループ報告
第6週	担当講師	発表のための作業時間
第7週	担当講師	発表と講評（1/3）
第8週	担当講師	発表と講評（1/3）
第9週	担当講師	発表と講評（1/3）
第10週	担当講師	データサイエンティストとは
第11週	担当講師	データサイエンスを問い直す アンケート、保険のもととなっている統計学
第12週	島田昭仁	データサイエンスを問い直す 統計学（確からしさ）と情報学（偶然らしさ）
第13週	島田昭仁	統計ソフトJMPのしくみ パーティションとニューラルのアルゴリズム
第14週	島田昭仁	期末試験
第15週	島田昭仁	期末試験のふりかえり

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『会話顕微鏡』 コミュニティ科学出版
参考文献・資料等	適宜スライドを使用します。ワークショップを主とした対話型授業です。
備考	・本教員は、外資系企業にて、営業や人事その他の業務を歴任した。その経験を活かして、企業コンサルタント、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。